

建築物排出量削減計画書

(宛 先) 京 都 市 長		2024 年 11 月 7 日	
住 所 (法 人 に あ っ て は , 主 た る 事 務 所 の 所 在 地) 大 阪 市 北 区 中 之 島 二 丁 目 2 番 7 号		氏 名 (法 人 に あ っ て は , 名 称 及 び 代 表 名) J R 西 日 本 不 動 産 開 発 株 式 会 社 代 表 取 締 役 藤 原 嘉 人	
大 阪 市 北 区 中 之 島 3 丁 目 3 番 23 号 中 之 島 ダイビル		関 電 不 動 産 開 発 株 式 会 社 代 表 取 締 役 社 長 福 本 恵 美	

京都市地球温暖化対策条例 ☒ 第 4 9 条第 1 項 ☐ 第 4 9 条第 3 項 ☐ 第 5 2 条第 1 項 ☐ 第 5 2 条第 2 項において準用する同条例第 4 9 条第 3 項 の規定により提出します。				
工 事 の 種 別		☒ 新 築 ☐ 増 築		
工事着工予定年月日		2024 年 12 月 27 日		
工事完了予定年月日		2026 年 10 月 15 日		
建築物 の概要	名 称	(仮 称) 京 都 市 南 区 久 世 上 久 世 プ ロ ジ ェ ク ト 新 築 工 事		
	所 在 地	京都市南区久世上久世町320番、326番、327番1、327番3、328番1、328番3、 330番1の一部、330番2、341番1、341 番 2、343番、344番、345番1、1267番、 1268番、1269番、 1270番、1272 番、1273番、1274番		
	構 造	鉄筋コンクリート 造	階 数	地 上 7 階 地 下 0 階
	敷 地 面 積	8142.23平方メートル	高 さ	19.99メートル
	建 築 面 積	3510.04平方メートル	床 面 積 の 合 計 (1 棟増築の場合の 増築部分の床面積)	17889.70平方メートル (平方メートル)
	用途別の床 面積	住 宅	17889.70平方メートル	
		ホ テ ル 等		
		病 院 等		
		物品販売業を営む 店舗等		
		事 務 所 等		
学 校 等				
飲 食 店 等				
集 会 所 等				
工 場 等				
建築環境総合性能評価システムによる評 価の結果		A ラ ン ク BEE = 2.1		

金融機関の融資制度を利用するための 受領確認書の交付について (販売を目的とした住宅を計画する場合のみ 記入すること)	☒ 希望する ☐ 希望しない
設計者の住所及び氏名の公表について	☒ 公表可 ☐ 公表不可
温室効果ガスの排出の量の削減を図るた めに実施する措置	概 要
☒ 外 壁 , 屋 根 又 は 床 の 断 熱	外壁＝硬質ウレタンフォームA種1H 床＝押出法ポリスチレンフォーム3種bA
☒ 窓 の 断 熱 又 は 日 射 の 遮 蔽	Low-E複層ガラス採用
☒ エネルギー消費効率の高い設備の 導入	LED照明設置
☒ 再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー の 利 用	太陽光パネル設置
☐ 環 境 へ の 負 荷 が 少 な い 材 料 の 利 用	
☒ 地 域 産 木 材 の 利 用	地域産木材を各居室天井下地材に使用
☒ 節 水 型 設 備 の 設 置	節水型便器の採用
☐ 雨 水 , 雑 排 水 等 の 利 用	
☐ 耐用年数が長い材料及び設備の 利用	
☐ 建築物の維持管理の容易性に対す る配慮	
☒ 緑 化 の 実 施	住棟を囲むように緑地を設けた
☐ 電 気 自 動 車 等 の 充 電 設 備 の 設 置	
☐ 宅 配 ボ ッ ク ス の 設 置	
☐ 代替フロン由来の温室効果ガス 排出削減	
☐ そ の 他	

注1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容が分かる書類を添付してください。

3 この計画書は、建築物の棟ごとに作成してください。(敷地内増築、棟別新築の場合は、新築の扱いとなります)